

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	Basic Conversation I	(NCR14S)
講義名 (コード)	Basic Conversation I	(NCR14SX)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年 1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数 2
授業担当者	高野 恵	時間数 30
成績評価教員	高野 恵	講義期間 春学期
実務者教員	いいえ	履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	英語による基本的な会話力を身につけ、あいさつや自己紹介、簡単な会話を通して、自分の状況や考えを伝え、相手に応答できるようになることを目標とする。
全体の内容と概要	Unit 1・2 を中心に、自己紹介や日常的な会話表現を学び、現在形・現在進行形を用いた基礎的な英会話練習を行う。
授業時間外の学修	授業で扱った表現や文法を復習。
履修上の注意事項等	会話中心の授業のため、積極的に発話し、授業活動に参加すること。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率 X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	英語で簡単なあいさつと自己紹介ができるようになる	ガイダンス、Unit1導入、あいさつ表現、自己紹介
2	初対面の相手と基本的なスモールトークができるようになる	Unit1 Conversation Stages (Greetings & Introductions)
3	現在形を使って自分の情報を伝えられるようになる	Unit1 Grammar Focus (Simple present tense)
4	/l/ と /r/ の音の違いを意識して発音できるようになる	Unit1 Pronunciation Tips、発音練習
5	会話の流れを聞いて必要な情報を聞き取れるようになる	Unit1 Listening、聞き取り練習
6	自己紹介から会話を自然につなげられるようになる	Unit1 Putting It All Together (ロールプレイ)
7	Unit1 内容を使って簡単な会話ができるようになる	Unit1 まとめ・小テスト・復習
8	自分の状況を説明し、相手に話しかけられるようになる	Unit2 導入、Conversation Stages
9	問題や困っていることを英語で説明できるようになる	Unit2 Model Conversation
10	現在進行形を使って今起きていることを説明できるようになる	Unit2 Grammar Focus (Present continuous)
11	/s/ と /ʒ/ の音の違いを意識して話せるようになる	Unit2 Pronunciation Tips
12	会話から要点を聞き取り、内容を理解できるようになる	Unit2 Listening
13	状況説明と問題解決の会話ができるようになる	Unit2 Putting It All Together
14	学期内容を総合的に理解し、運用できるようになる	期末テスト
15	自分の弱点を理解し、次の学期の課題を設定できるようになる	テストフィードバック・振り返り

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	Encounters Book 1 (English Edition)
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	Writing I		(NCR14U)
講義名 (コード)	Writing I		(NCR14UX)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	BRADT MARK JEFFREY	時間数	30
成績評価教員	BRADT MARK JEFFREY	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	To develop fundamental English writing skills for everyday and professional settings.
全体の内容と概要	Textbook work, written assignments with group corrections and edits.
授業時間外の学修	Written assignments and research of grammar structures.
履修上の注意事項等	We will discuss rules regarding AI in class.

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Introduction	Introduction of class, textbook, teacher, and writing expectations. Overview of basic paragraph writing.
2	Can write about personal information	Chapter 1. Writing about yourself. Practice simple sentences and self-introduction paragraphs.
3	Can expand ideas about oneself.	Chapter 1. Develop paragraphs with supporting details about personal experiences and background.
4	Can write about family and friends.	Chapter 2. Writing about family and friends. Focus on describing people and relationships.
5	Can organize ideas about people.	Chapter 2. Practice paragraph organization and use of descriptive details.
6	Can describe daily activities.	Chapter 3. Writing about activities. Practice using present tense and time expressions.
7	Can explain processes and routines.	Chapter 4. Giving instructions. Practice sequencing and using imperative forms.
8	Can write about daily routines.	Chapter 5. Writing about your day. Focus on paragraph flow and transitions (first, next, then).
9	Can write clear descriptions.	Chapter 6. Writing descriptions. Practice using adjectives and descriptive language.
10	Can describe places.	Chapter 7. Writing about places. Focus on spatial organization and details.
11	Can write a simple narrative.	Chapter 8. Writing a narrative. Practice past tense and storytelling structure.
12	Can organize a narrative clearly.	Chapter 8. Develop narrative paragraphs with clear beginning, middle, and end.
13	Can express and support opinions.	Chapter 9. Expressing your opinion. Practice giving reasons and examples.
14	Exam	Final writing exam.
15	Feedback	Final exam feedback and Q&A.

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Ready to Write 1
参考文献・資料等	Worksheets, Writing prompts and misc. examples and references.
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	Reading & Vocabulary I		(NCR15A)
講義名 (コード)	Reading & Vocabulary I		(NCR15AX)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	木村 みゆき	時間数	30
成績評価教員	木村 みゆき	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	様々な題材の記事を読み、理解し、語彙を増やし、それに関する自分の意見を英語で表現できるようにする
全体の内容と概要	文章を理解するための文法を学びながら記事を読み、それについてクラスで話し合う。
授業時間外の学修	新しい単語を覚える
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	A piece of History in your closetを読み理解できる。	自分の好きな洋服について話し合い、文章を読む。
2	A piece of History in your closetを読み理解できる。	A piece of History in your closet の内容を確認し、新しい単語、熟語を使って作文する。
3	Birth order among Sibling を読み理解できる。	自分の家族について話し合い、Birth order・・・を読む。
4	Birth order among Sibling を読み理解できる。	本文の内容の確認。新しい単語、熟語を使って作文。
5	The origin of basketballを読み理解できる。	自分の好きなスポーツについて話し合い The origin of ..を読む。
6	The origin of basketballを読み理解できる。	本文を理解しているか確認。新しい単語、熟語を使って作文。
7	Table manner を読み理解できる。	欧州のテーブルマナーと日本、アジアの違いを話し合いながら記事を読む。
8	Table manner を読み理解できる。	正確に本文を理解しているか確認し、新しい単語、熟語を使って作文。
9	Music Beatsを読み理解できる。	自分の好きな音楽の種類、ミュージシャンについて話し、記事を読む。
10	Music Beatsを読み理解できる。	本文の理解確認と新しい単語、熟語を使った作文。
11	Amazing Koalaを読み理解できる。	好きな動物やペットについて話し合い、記事を読む。
12	Amazing Koalaを読み理解できる。	本文を理解しているかの確認。新しい単語、熟語を使った作文。
13	Review	テスト対策
14	前期 期末テスト	期末テスト
15	FB	まとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	Reading Success 2 (Seibido)
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	Grammer I	(NCR15C)
講義名 (コード)	Grammar I	(NCR15CX)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年 1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数 2
授業担当者	高野 恵	時間数 30
成績評価教員	高野 恵	講義期間 春学期
実務者教員	いいえ	履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	文法を理解することにより読解や会話での表現の幅を広げる。
全体の内容と概要	文章の構成、品詞の役割を学び、練習問題や会話練習を通して使える文法を身につける。
授業時間外の学修	復習として練習問題を解く。また、音読練習をしてスムーズに口からできるようにする。
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	文の成り立ちを理解できるようになる	品詞の種類、句と節、文の要素を把握する。
2	文の種類を理解できるようになる	現在形と現在進行形の違いについて学び、現在形と進行形を使い分けてみる。
3	動詞と文型を理解できるようになる	同じ動詞 (get) でも文型によって意味が変わってしまうことを学ぶ。文型の特徴を知り、見分けられるようにする。
4	動詞と時制を理解できるようになる	現在形と現在進行形の違いについて学び、現在形と進行形を使い分けてみる。
5	動詞と時制を理解できるようになる	不規則動詞・規則動詞の確認をする。過去形と進行形の違いを理解し、使って表現してみる。
6	完了形を理解できるようになる	現在完了形を使う様々な場面を理解する。
7	完了形を理解できるようになる	現在完了形と現在進行形を比べてみる。
8	助動詞の役割を理解できるようになる	それぞれの助動詞の意味を理解し、会話で使えるように練習する。
9	助動詞の役割を理解できるようになる	それぞれの助動詞の意味を理解し、会話で使えるように練習する。
10	態を理解できるようになる	単純現在・過去形の受動態、現在完了、現在進行形の受動態の作り方を理解し文章を作る。
11	態を理解できるようになる	単純現在・過去形の受動態、現在完了、現在進行形の受動態の作り方を理解し文章を作る。
12	総復習	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習する。
13	総復習	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習する。
14	期末テスト	期末テスト
15	まとめと解説	テスト F B

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	Evergreen English Grammar 23Lessons
参考文献・資料等	Evergreen
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	Pronunciaton Speaking I		(NCR15E)
講義名 (コード)	Pronunciaton Speaking I		(NCR15EX)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	BRADT MARK JEFFREY	時間数	30
成績評価教員	BRADT MARK JEFFREY	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	To gain as much practical experience as possible speaking English while focusing on proper intonation and pronunciation.
全体の内容と概要	Textbook speech prompts, pronunciation drills, and group discussion.
授業時間外の学修	AI speaking partner assignments.
履修上の注意事項等	We will discuss rules regarding AI in class.

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	Introduction	Introduction of class, textbook, teacher, and speaking expectations. Review of basic self-introductions.
2	Can talk about present, past, and future.	Chapter 1. Review of tenses (present, past, future). Speaking practice about daily life and plans.
3	Can ask and answer about quantities.	Chapter 2. Count/Non-count nouns. Practice conversations about food and shopping.
4	Can give instructions and talk about food.	Chapter 3. Imperatives and partitives. Role plays: ordering food and giving simple instructions.
5	Can talk about future plans and possibilities.	Chapter 4. Future tense (will, might). Pair work discussing future plans and predictions.
6	Can make comparisons and give advice.	Chapter 5. Comparatives and should. Practice giving advice and making comparisons.
7	Can describe people and express opinions.	Chapter 6. Superlatives. Speaking activities describing people, places, and preferences.
8	Can give directions and instructions clearly.	Chapter 7. Imperatives and directions. Role play: giving directions and navigating places.
9	Can describe actions and intentions.	Chapter 8. Adverbs and if-clauses. Speaking about habits, plans, and consequences.
10	Can talk about past activities.	Chapter 9. Past continuous. Describe past events and ongoing actions.
11	Can express ability and obligation.	Chapter 10. Can / have to. Role plays about rules, abilities, and responsibilities.
12	Can give advice and discuss health.	Chapter 11. Must / should. Conversations about health and daily habits.
13	Can talk about future plans and duration.	Chapter 12. Future continuous and time expressions. Telephone and scheduling activities.
14	Can ask for help and solve problems.	Chapter 13. Some/any and verb tense review. Speaking practice for problem-solving situations.
15	Exam / Feedback.	Final speaking test (interview or role play). Feedback and Q&A.

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	Side By Side 2
参考文献・資料等	Worksheets and audio files
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	スピーチ I	(NCR15G)
講義名 (コード)	スピーチ I	(NCR15GX)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年 1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数 2
授業担当者	PIERCE WILLIAM TROY	時間数 30
成績評価教員	PIERCE WILLIAM TROY	講義期間 春学期
実務者教員	いいえ	履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	For the students to be able to give a successful speech on a variety of subjects. They will learn how to gather information on the topic, organize into a speech form and deliver it in a professional way.
全体の内容と概要	Using references from various textbooks and handouts on technics to a speech, lectures from the teacher, discussion time and provided time in class for research needed to do their speeches.
授業時間外の学修	I don't expect them to do homework but they will have the option of doing research out of class in improve their knowledge. I will provide them time in class to research when needed.
履修上の注意事項等	During lecture and discussion times, they will be expected to leave their phones on top of their desks. During research and study times, they will be allowed to use their smartphones as study tools.

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	Class Introduction	Introduction of class, instructor, and materials.
2	Structure of a Speech	Introduction to the concepts of research, writing, and formatting.
3	Research	An explanation of research techniques, organization, and pre-writing.
4	Writing	Further practice in organizing and preparing information for a speech. Introduction to writing for presentation.
5	Re-writing and Practice	Editing concepts and rewrites. Practice first presentation.
6	First Presentation	Delivery of first presentation.
7	Persuasive Speaking	Introduction to persuasive speeches, language, and methods.
8	Persuasive Speaking Examples	Videos of persuasive speeches for analysis and critique.
9	Body Language	An introduction to body language.
10	Facial Expression	An introduction to facial expression.
11	Vocal Control	An introduction to vocal control
12	Final Speech PRep	Choose a topic for final exams, conduct research and begin writing.
13	Final Speech Prep	Complete writing for final exams and begin practicing.
14	Final Speech	Final Exam Speeches
15	Feedback	Feedback on exams and classes.

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	No textbook.
参考文献・資料等	Powerpoint, video materials, and worksheets. Students will need to bring and keep a notebook to take notes during classes.
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	通訳入門 I		(NCR15I)
講義名 (コード)	通訳入門 I		(NCR15IX)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	松尾 早苗	時間数	30
成績評価教員	松尾 早苗	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	基礎的な英語の逐次通訳ができるようになる
全体の内容と概要	通訳に必要な英語力をテキストで学び演習を繰り返し行う
授業時間外の学修	ヒアリング技術を高めるため youtubeやテレビの英語チャンネルなどで1日10分必ず英語の番組を聴く
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画	

回	到達目標	授業内容
1	通訳の種類、それぞれの業務内容を理解する	同時通訳、逐次通訳、ウィスパリングの概要
2	サマライズができるようになる	英文を聞き内容を簡潔にまとめる練習
3	シャドーイングの理論を理解する	短文のシャドーイングを繰り返し演習
4	メモの取り方ができるようになる	記号も使いながらメモを取る演習
5	リテンションができるようになる	短い文から少しづつ長くして記憶する演習
6	短いスピーチの通訳ができるようになる (E→J)	3文から5文に増やしながら逐次通訳してみる
7	自己紹介を通訳できるようになる (E→J)	簡単な自己紹介英文を全員が作成した後、クラスメートが通訳する
8	学校紹介を通訳できるようになる (E→J)	自分の出身高校の学校紹介英文を作成し、クラスメートが通訳する
9	ホテルでチェックイン通訳ができるようになる (E→J)	海外旅行に行った想定でホテルのチェックインをアシストする
10	レストランで注文通訳ができるようになる (E→J)	海外旅行に行った想定でレストランで必要な英語の通訳をする
11	観光案内通訳ができるようになる (E→J)	海外旅行に行った想定で観光ガイドの英語の通訳をする
12	道案内通訳ができるようになる (E→J)	海外旅行に行った想定で道案内英語の通訳をする
13	テスト前復習	プリント、演習
14	前期テスト	テスト
15	テスト解説	解説

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	どんどん話すための瞬間英作文トレーニング
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	中国語入門 I	(NCR15K)
講義名 (コード)	中国語入門 I	(NCR15KX)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年 1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数 2
授業担当者	姚 海玲	時間数 30
成績評価教員	姚 海玲	講義期間 春学期
実務者教員	いいえ	履修区分 選択
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	『単韻母』, 『復韻母』, 『声母』, 『四声』, 『整体认读・』に気を付けて文を読むことができる
全体の内容と概要	『汉语拼音』の学習、発音の練習、書く練習を行う
授業時間外の学修	宿題を課す
履修上の注意事項等	四声の発音の仕方

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	a o eを正しく発音できる	a o eの発声練習した後、1人1人の発音のテストを行う。
2	i u üを正しく発音できる	i u üの発声練習した後、1人1人の発音のテストを行う。
3	b p m fを正しく発音できる	b p m fの発声練習した後、1人1人の発音のテストを行う。
4	d t n lを正しく発音できる	d t n lの発声練習した後、1人1人の発音のテストを行う。
5	g k hを正しく発音できる	g k hの発声練習した後、1人1人の発音のテストを行う。
6	j q xを正しく発音できる	j q xの発声練習した後、1人1人の発音のテストを行う。
7	z c sを正しく発音できる	z c sの発声練習した後、1人1人の発音のテストを行う。
8	zh ch sh rを正しく発音できる	zh ch sh rの発声練習した後、1人1人の発音のテストを行う。
9	y wを正しく発音できる	y wの発声練習した後、1人1人の発音のテストを行う。
10	复习1~3を正しく発音できる	発声練習した後、1人1人の発音のテストを行う。
11	复习4~6を正しく発音できる	発声練習した後、1人1人の発音のテストを行う。
12	复习7~9を正しく発音できる	発声練習した後、1人1人の発音のテストを行う。
13	复习1~9を正しく発音できる	発声練習した後、1人1人の発音のテストを行う。
14	まとめと解説	テスト
15	まとめと解説	テスト

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	漢語併音
参考文献・資料等	中国小学生教科書
備考	引き続き練習問題をとく

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	芸術表現 I	(NCR15M)
講義名 (コード)	芸術表現 I	(NCR15MX)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年 1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数 1
授業担当者	小笠原 あやの	時間数 30
成績評価教員	小笠原 あやの	講義期間 春学期
実務者教員	はい	履修区分 選択
実務者教員特記欄	空気猫デザイン研究所 代表	授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	身近な素材やテーマから、自分なりに発想し工夫して「生活の中の芸術」を生み出す力を育む。身の回りにある「芸術」に気が付き、生活を豊かにする感性を身につける。
全体の内容と概要	ワークショップ型の作品づくり。グループワークもあり。自分の作品を発表したり、自分以外の作品を鑑賞し、感想を述べるなど、クリエイティブなコミュニケーションを展開する。
授業時間外の学修	あり (状況による)
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	絵や工作が得意か否か、上手いか否かにかかわらず、工夫して前向きに表現しようとする姿勢を重視する。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	色彩感覚を豊かに、折り方や染め方などを工夫できる。	カラフル折り染め体験
2	「余白」を意識した構図を考え、対照をよく観察することができる。	自分の「手」をデッサンする①
3	〃	自分の「手」をデッサンする②
4	雑多な素材の組み合わせから、思いもよらない自分を発見できる。	新聞・広告・雑誌などを使った「コラージュ」①
5	〃	新聞・広告・雑誌などを使った「コラージュ」②
6	限られた色（モノクロ）の世界を、自分なりに表現できる。	ボールペン1本使い切ろう（黒画用紙に白ボールペンで自由に表現する）
7	原始的な腫瘍を用いて、「絵が動く」体験ができる。	アニメーションの原型「ムービーモーション」を体験しよう①
8	〃	アニメーションの原型「ムービーモーション」を体験しよう②
9	自分のイメージを象徴化し、他人に「伝える」デザインにすることができる。	自分を表す「シンボルマーク」を考えよう①
10	〃	自分を表す「シンボルマーク」を考えよう②
11	グループワークから刺激を受け、想像力を高めることができる。	逆から発想する絵画「○○じゃない○○」
12	テーマを意識して写真を撮ることで、表現の幅を広げることができる。	街に出て写真を撮ろう。～初夏の風景～
13	段階的に根気よく前向きに作品を仕上げるることができる。	ステンシルプリント体験① 絵柄や構図を考える
14	〃	ステンシルプリント体験② 下絵を切り絵にする
15	〃	ステンシルプリント体験③ 切り絵を型にして彩色する

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	英語資格対策 I	(NKT16G)
講義名 (コード)	英語資格対策 I A	(NKT16GA)
対象学科	国際コミュニケーション学科/グローバルビジネス学科	配当学年 1学年
対象コース	英語キャリアコース / 観光ホスピタリティコース	単位数 2
授業担当者	高野 恵	時間数 30
成績評価教員	高野 恵	講義期間 春学期
実務者教員	いいえ	履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	英検準2級以上に合格する。
全体の内容と概要	今学期は準2級取得のために必要な基礎固めをするため、文法の復習と単語習得に力を入れる。
授業時間外の学修	「でる順パス単」から毎週50単語ずつ覚えてくる。
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率 X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	単語1～50 準2級の過去問題に挑戦する	準2級の過去問題集を解き、自分の弱点を知る。
2	単語51～100 / 時制・態が理解 できるようになる	自動詞・他動詞・完了形・進行形・受動態の確認と練習問題を解く。
3	単語101～150 / 助動詞の働きが 理解できるようになる	will/shall/can/ may/must/ would/ shouldの基本的用法を学びながら問題を解く。
4	単語151～200 / 不定詞・動名詞・ 分詞が理解できるようになる	不定詞と動名詞の働きを学び、慣用表現を覚える。
5	単語201～250 / 関係代名詞が理 解できるようになる	関係代名詞の使い方を学び、それに関する問題を解いてみる。
6	単語251～300 比較級が理解できるようになる	比較級を理解し、関連問題を解く。
7	単語301～350 最上級が理解できるようになる	最上級を学び、関連問題を解く。
8	単語351～400 / 現在完了形が理 解できるようになる	現在完了を理解し、関連問題を解く。
9	単語401～450 / 前置詞・接続詞が理 解できるようになる	紛らわしい前置詞・接続詞を的確に使えるようにする。
10	単語451～500 / 準2級の単語・ 熟語がわかるようになる	よく出る単語・熟語を学び、過去の穴埋め問題を解く。
11	単語501～550 / 必要な語彙・熟 語が理解できるようになる	語彙を増やすために派生語・接尾語を覚える。
12	単語551～600 / 語彙・熟語・フレー ズが理解できるようになる	語彙や熟語が自分の物となっているか復習テストを受ける。
13	総復習	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習をする。
14	期末テスト	期末テスト
15	まとめと解説	テスト F B

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	英検準2級でる順パス単、DAILY3週間 英検準2級 集中ゼミ 7訂版
参考文献・資料等	Evergreen English Grammar 23Lessons
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	英語資格対策 I	(NKT16G)
講義名 (コード)	英語資格対策 I B	(NKT16GB)
対象学科	国際コミュニケーション学科/グローバルビジネス学科	配当学年 1学年
対象コース	英語キャリアコース / 観光ホスピタリティコース	単位数 2
授業担当者	木村 みゆき	時間数 30
成績評価教員	木村 みゆき	講義期間 春学期
実務者教員	いいえ	履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	英検準1級・2級を取得する
全体の内容と概要	文法を理解し、語彙 熟語 長文 作文 listeningの練習問題に取り組む
授業時間外の学修	英単語・熟語を覚える
履修上の注意事項等	試験日に注意して目標をたてる。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率 X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	時制・態を理解できる	現在・完了形・進行形・受動態を理解し練習問題をする
2	助動詞の働きを理解できる	will/shall/may/must/would/shouldの基本的用法を学ぶ
3	2級の問題に挑戦し自分の弱点を知る	2級の過去問からの長文を解き弱点を見つける
4	長文の読み方・出題傾向を理解できる	英検長文の特徴を知り、時間内に読む練習をする
5	不定詞・動名詞・分詞を理解できる	不定詞と動名詞の働きを学び慣用表現を覚える
6	listeningに慣れる	英検のlisteningの特徴を知り 問題に取り組む
7	英検2級・準1級の単語・熟語を覚える	各級によく出る単語・熟語を学び穴埋め問題に取り組む
8	2級・準1級の問題に取り組み達成度を判断できる	過去問を通して自分の達成度を判断しこれからの勉強法を考える
9	関係代名詞を理解できる	関係代名詞の使いかたを学び、それに関連する問題を解く
10	作文を書ける 1	文章を書く際の構成を学び 与えられたトピックについて文章を書く。
11	作文を書ける 2	文章を要約し、英文で表現できるようにする
12	2級・準1級の問題に挑戦し自分の弱点を見つける	listenin・穴埋め・長文・作文を時間内に行う
13	review	テスト対策
14	テスト	期末テスト
15	FB	まとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	英検2級集中ゼミ 出る順パス単2級
参考文献・資料等	英検2級過去6回問題集・英検準1級過去6回問題集・出る順パス単2級
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	異文化理解 I		(NKT16K)
講義名 (コード)	異文化理解 IA		(NKT16KA)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース/グローバルビジネスコース/観光ホスピタリティコース/WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	姚 海玲	時間数	30
成績評価教員	姚 海玲	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	グローバル化が進む今日の社会で、ダイバーシティを尊重し、国際理解を深める。
全体の内容と概要	異文化理解の概念や現存する問題などを紹介し、学生自ら考え、グループワーク、ディスカッション、などを行う。
授業時間外の学修	日頃からいろいろな国の学生たちと交流を持ちましょう。
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	自己紹介でそれぞれの学生の文化的背景を理解する	各自白い紙に絵や文字で自分を紹介するポスターを作成、自己紹介
2	異文化理解はなぜ必要か、異文化理解とは何かを理解できる	文化とは何か、文化による差異を理解する
3	それぞれの学生の国について、地理的な面から学ぶことができる。	国ごとのグループに分かれそれぞれ自国について、場所（地形）、人口、気候、首都、などを発表する。
4	異文化適応について理解することができる	カルチャーショック、逆カルチャーショックの体験を話す
5	行動、視点、環境による文化の違いを体験することができる①	行動、視点、環境による文化の違いを考える。
6	行動、視点、環境による文化の違いを体験することができる②	発想の転換クイズを行い、柔軟な考え方を養う
7	イメージと固定概念について理解できる	固定観念、ファイリングという脳のはたらきを紹介し、実例とともに理解する
8	ステレオタイプが理解できる	社会的なステレオタイプを紹介し、イメージを話し合う
9	差別について理解することができる①	差別とは何か？差別の種類、それが生まれる背景について理解する
10	差別について理解することができる②	差別の体験を話し、差別をなくすための方法を考える
11	世界各地の価値観について理解する①	価値観について、それぞれの国での考え方について話し合う。
12	世界各地の価値観について理解する②	各地の価値観についての感想と価値観の違いの実体験を話す
13	前期のまとめ	まとめ
14	まとめと解説	期末テスト発表
15	まとめと解説	フィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	特になし
参考文献・資料等	異文化理解入門その他
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	ビジネスコンピューティング I		(NKT16M)
講義名 (コード)	ビジネスコンピューティング I A		(NKT16MA)
対象学科	国際コミュニケーション学科/グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース/WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	竹内 玲子	時間数	30
成績評価教員	竹内 玲子	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	東京コンピューター (株)、東京精電 (株) 歴任	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	Windows11による基本的なパソコン操作およびMicrosoftOffice2021の基礎を習得する 基本的なビジネス文書やプレゼンテーション資料を作成できるようになることを目指す
全体の内容と概要	テキストに沿って様々な形式の課題を作成し、基本操作を身につける 前期でWord・PowerPoint、後期でExcelを学習します
授業時間外の学修	メニューの操作方法、文章の構成など授業内容を復習してください。 自分のスマートフォンを使っても学習ができます。
履修上の注意事項等	資格取得の意欲がある学生には資格試験 (MOS・日商PC検定) の練習もおこないます。

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Windowsの基本操作ができる タッチタイピングを覚える	教室の使い方、注意、システムの説明・Windows11の基本操作 タイピングソフトを利用したタイピング練習
2	Wordを起動し保存・終了・文字入力の 基本操作ができる	Wordの基礎・文字入力（ファンクションキー変換・IMEの使用・記号の入力） 短文入力
3	Word ページ設定・編集機能の利用ができる	ページ設定・編集機能 複写・削除・移動の利用
4	PowerPointの基礎操作ができる	PowerPointの概要、起動、新規作成、画面構成確認、入力、保存 （スライドの挿入、箇条書き、図形の挿入、表作成、図の挿入）
5	PowerPoint スライド、挿入した オブジェクトの編集ができる	書式設定、箇条書きの変更、図形の変更、表の編集、図の編集
6	PowerPoint スライドショーの実行 ブラッシュアップ機能が操作できる	テーマ、アニメーション、スライドショー、スライドの印刷設定 スライドマスターを使ったテンプレートの変更方法
7	Word 社内・社外文書を理解し 表の作成・編集ができる	ビジネス文書（社内文書・社外文書）の入力 配置・箇条書き・フォントの変更・表の作成・編集
8	Word 表の入った文書を作成できる 表の編集ができる	例題文書作成→書式の変更（社内文書の配置確認・切り取り線の作成など） 例題文書作成→表の編集（社外文書の配置確認・表の作成、編集など）
9	Word オブジェクトを操作できる	画像・テキストボックスの入った文書作成 （ワードアート・画像・テキストボックス挿入）
10	Word 文書に合わせた画像の操作ができる	画像の入った文書作成 表の操作確認・図形の入った文書作成
11	復習 Word	テスト前練習問題 すべての機能を活用したビジネス文書作成
12	復習 PowerPoint	テスト前練習問題 すべての機能を活用したスライド作成
13	復習 Word・PowerPoint	テスト前練習問題 すべての機能を活用したビジネス文書作成・スライド作成
14	まとめと解説	期末テスト
15	まとめと解説	テストF B

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	30時間でマスターOffice2021
参考文献・資料等	各問題集の練習問題、レベルに応じた資格試験の練習問題
備考	担当教員はIT業界での実務経験を活かし、 Microsoft Office製品各種の操作を体系的に指導する

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	キャリアデザイン I		(NKT160)
講義名 (コード)	キャリアデザイン IA		(NKT160A)
対象学科	国際コミュニケーション学科/グローバルビジネスコース	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	石田 浩也	時間数	30
成績評価教員	石田 浩也	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	キャリアコンサルタント、 同会社ライトハウス・キーパーズ代表	合	授業形態 講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	自分自身の専門学校生活や職業人生、キャリアについて自らが主体となって構想し、実現することを目指す。社会人として必要とされるマナーを習得する。⇒企業で活躍できる人間形成
全体の内容と概要	講義と演習により、就職内定へ向けて実践的なマナーやスキル、企業研究、職種研究、インターンシップの活用を通じてマッチング方法を習得する。
授業時間外の学修	インターンシップ、合同企業説明会&面接会参加 (WEB含む)
履修上の注意事項等	主体性をもって、授業に取り組む姿勢、就職に意欲的に取り組む姿勢。

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件	出席率70%以上の者を期末試験の受験対象者とし、授業への参加態度や学習意欲も評価の対象とする		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	授業内容を理解し、主体的に取り組む必要性を知ることができる	【オリエンテーション】講師自己紹介、前期の内容について説明、教材配布 【演習】学生による自己紹介 【演習】キャリア面談票の記入
2	基本的なビジネスマナーを知る	【ビジネスマナー】社会人に必要とされるマナーについての理解、非言語コミュニケーション 【演習】学生同士で学んだことを練習
3	就職活動スケジュールが理解できる	【就職活動スケジュールと進め方】就職事情について 【演習】進路活動ハンドブックの使い方、記名、活用方法について
4	キャリアについて理解できる	【キャリアについて】キャリア意識、マインド、社会人基礎力について 【演習】自分が考える「キャリア」について発表 【宿題】メンターを決め、その人の「仕事観」「人生観」をヒアリング
5	レジリエンスについて理解し、自分の強みを発見することができる	【レジリエンス】レジリエンスについての理解、人生曲線の説明と記入 【演習】強みの発見
6	インターンシップについて理解することができる	【インターンシップ】インターンシップとは、企業への連絡、電話の方法 【演習】インターンシップについて検索し、自分がインターンに行く企業を探す
7	自己分析し、自己紹介ができる	【自己分析】長所確認～自己PR 【演習】自己紹介文作成、発表（1分/人）
8	他人の紹介ができる	【他己紹介】友達の長所発見 【演習】友達の長所記入、シェア
9	自己PR書の作成ができる	【自己PR】自己紹介、長所、他者から見た自分の良いところを活用 【演習】自己PR文作成、発表（2分/人）
10	雇用、社会、企業を理解できる	【仕事理解①】仕事の世界、産業と仕事、仕事と資格 【演習】自分の興味のある産業を考える
11	どんな仕事があるかを理解できる	【仕事理解②】職業情報収集について 【演習】自分の気になる仕事について調べる、発表（2分/人）
12	筆記試験について理解できる	【筆記試験対策】筆記試験の種類 【演習】筆記試験の問題を解く
13	与えられた課題についてグループディスカッションができる	【ワークショップ】テーマ：「今の日本で変革したいことと、その手法」 【演習】ワークショップ/個別面談
14	チームワークで課題についてまとめることができる	【ワークショップ】テーマ：「今の日本で変革したいことと、その手法」 【演習】ワークショップ/個別面談
15	前期試験	【前期試験】記述式+13&14のプレゼンテーションの総合点で評価

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	『就職内定基本テキスト』（日本能率協会マネジメントセンター）
参考文献・資料等	適宜プリント、就活に関するニュースなどの情報シェアを行う
備考	担当教員はキャリアコンサルタントとしての実務経験を活かし、就職内定へ向けての実践的なカリキュラム運営を行う

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	Listening I		(NKT17C)
講義名 (コード)	Listening I		(NKT17CX)
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース / Webマーケティングコース / 観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	BRADT MARK JEFFREY	時間数	30
成績評価教員	BRADT MARK JEFFREY	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	To increase English listening comprehension in both professional and social situations.
全体の内容と概要	Textbook listening activities, audio video listening activities, TOEIC Listening exercises
授業時間外の学修	AI speaking partner assignments.
履修上の注意事項等	We will discuss rules regarding AI in class.

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画	

回	到達目標	授業内容
1	Introduction	Course introduction. Listening strategies (gist vs. detail, prediction). Unit 1: introductions and basic listening for names and details..
2	Can understand descriptions of people.	Units 2-3. Listening for topic, gist, and details (people, clothes).
3	Can understand routines and everyday information.	Units 4-5. Listening for time, numbers, dates, and schedules.
4	Can understand work and daily life topics.	Units 6-7. Listening for gist, details, and preferences.
5	Can understand activities and frequency.	Units 8-9. Listening for frequency, predictions, and location.
6	Can understand family and social topics.	Units 10-11. Listening for similarities, details, and invitations.
7	Can understand numbers and prices.	Units 12-13. Listening for numbers, details, and attitudes.
8	Can understand everyday conversations.	Units 14-15. Listening for topics, reactions, and travel situations.
9	Can understand housing and living situations.	Units 16-17. Listening for details, plans, and certainty.
10	Can understand predictions and general topics.	Units 18-19. Listening for gist, predictions, and shopping conversations.
11	Can understand descriptive language.	Units 20-21. Listening for details, descriptions, and directions.
12	Can understand people and places.	Units 22-23. Listening for opinions, similarities, and preferences.
13	Can understand health and real-life situations.	Unit 24 + review practice. Listening for advice, details, and overall comprehension.
14	Exam Prep.	Review of all units. Practice listening for gist, detail, and inference.
15	Exam / Feedback.	Final listening test. Feedback and Q&A.

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Basic Tactics for Listening
参考文献・資料等	Worksheets, Audio/Video Files and misc references.
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	TOEIC対策Ⅲ	(NKT25C)	
講義名 (コード)	TOEIC対策ⅠA	(NKT16IA)	
対象学科	国際コミュニケーション学科/グローバルビジネス学科	配当学年	1/2学年
対象コース	英語キャリアコース / 観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	高野 恵	時間数	30
成績評価教員	高野 恵	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	TOEIC5000点を旨す。
全体の内容と概要	TOEICテストの概要を理解し、文法の基礎を復習しながら、確実に問題を解けるようにする。
授業時間外の学修	TOEICテストの概要を理解し、文法の基礎を復習しながら、確実に問題を解けるようにする。
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	TOEICテストの概要を理解できるようになる	TOEICテストの構成・概要を知る。
2	Part1の解き方を理解できるようになる	リスニングパートであるPart1の解き方を学ぶ。
3	Part2の解き方を理解できるようになる	リスニングパートであるPart2の解き方を学ぶ。
4	Part2+3の解き方を理解できるようになる	リスニングパートであるPart2+3の解き方を学ぶ。
5	Part3の解き方を理解できるようになる	リスニングパートであるPart3の解き方を学ぶ。
6	Part4の解き方を理解できるようになる	リスニングパートであるPart4の解き方を学ぶ。
7	Part4+5の解き方を理解できるようになる	リスニングパートであるPart4+5の解き方を学ぶ。
8	Part5の解き方を理解できるようになる	リーディングパートであるPart5の解き方を学ぶ。
9	Part6の解き方を理解できるようになる	リーディングパートであるPart6の解き方を学ぶ。
10	Part6+7の解き方を理解できるようになる	リーディングパートであるPart6+7の解き方を学ぶ。
11	Part7の解き方を理解できるようになる	リーディングパートであるPart7の解き方を学ぶ。
12	総復習①	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習する。
13	総復習②	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習をする。
14	期末テスト	期末テスト
15	まとめと解説	テスト F B

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	A COMMUNICATIVE APPROACH TO THE TOEIC® L&R TEST Book 2: Intermediate
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	TOEIC対策Ⅲ		(NKT25C)
講義名 (コード)	TOEIC対策 I B		(NKT16IB)
対象学科	国際コミュニケーション学科/グローバルビジネス学科	配当学年	1・2学年
対象コース	英語キャリアコース / Webマーケティングコース / 観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	松尾 早苗	時間数	30
成績評価教員	松尾 早苗	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	TOEIC600点を達成する
全体の内容と概要	練習問題を繰り返し解きテクニックを身につける
授業時間外の学修	単語復習を繰り返す
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

--	--	--

回	到達目標	授業内容
1	TOEICの概要を理解する	TOEICの構成（パート毎）、概要説明
2	Part 1 の概要と解き方のテクニックを理解する	単語～問題の説明～練習問題～答え合わせ
3	Part 2 の概要と解き方のテクニックを理解する	単語～問題の説明～練習問題～答え合わせ
4	Part 3の概要と解き方のテクニックを理解する	単語～問題の説明～練習問題～答え合わせ
5	Part 4 の概要と解き方のテクニックを理解する	単語～問題の説明～練習問題～答え合わせ
6	Part 5の概要と解き方のテクニックを理解する	単語～問題の説明～練習問題～答え合わせ
7	Part 5の概要と解き方のテクニックを理解する	単語～問題の説明～練習問題～答え合わせ
8	Part 6の概要と解き方のテクニックを理解する	単語～問題の説明～練習問題～答え合わせ
9	Part 6の概要と解き方のテクニックを理解する	単語～問題の説明～練習問題～答え合わせ
10	Part 7 の概要と解き方のテクニックを理解する	単語～問題の説明～練習問題～答え合わせ
11	Part 7の概要と解き方のテクニックを理解する	単語～問題の説明～練習問題～答え合わせ
12	テスト前総復習	間違いやすい箇所、定着していない箇所を中心に復習
13	テスト前総復習	間違いやすい箇所、定着していない箇所を中心に復習
14	期末テスト	期末テスト
15	まとめと解説	テストフィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	『TOEIC® L&Rテスト 全パート完全攻略 問題集』
参考文献・資料等	『TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ』（朝日新聞出版）
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	TOEIC対策Ⅲ		(NKT25C)
講義名 (コード)	TOEIC対策 I C		(NKT16IC)
対象学科	国際コミュニケーション学科/グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース / Webマーケティングコース / 観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	BRADT MARK JEFFREY	時間数	30
成績評価教員	BRADT MARK JEFFREY	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	Achieve the ability to score over a 600 on the TOEIC L&R test.
全体の内容と概要	Textbook work, grammar drills, listening drills, practice tests.
授業時間外の学修	Practice test questions and vocab review.
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画	

回	到達目標	授業内容
1	Understand TOEIC format and basic grammar.	Course intro. TOEIC overview. Unit 1: Dining Out (前置詞) + basic strategies.
2	Can use adjectives and describe situations.	Unit 2: Offices (形容詞) + TOEIC Part 5 practice.
3	Can understand sentence connections.	Unit 3: General Business (接続詞) + Part 5 & 6 practice.
4	Can understand complex sentence structures.	Unit 4: Manufacturing (関係接続詞) + reading skills.
5	Can understand participle structures.	Unit 5: Communication (分詞構文) + Part 6 practice.
6	Can understand inversion and emphasis.	Unit 6: Health (倒置) + reading comprehension.
7	Can use passive voice correctly.	Unit 7: Finance & Budgeting (受動態) + TOEIC grammar focus.
8	Can compare and analyze information.	Unit 8: Entertainment (比較) + Part 7 reading practice.
9	Can use pronouns correctly.	Unit 9: Purchasing (不定詞) + mixed practice.
10	Can use adverbs effectively.	Unit 10: Corporate Development (副詞) + reading speed training.
11	Can understand relative clauses.	Unit 11: Technical Areas (関係代名詞) + Part 6 & 7.
12	Can understand complex clauses.	Unit 12: Travel (複合関係詞) + integrated practice.
13	Can apply grammar in TOEIC context.	Mock Practice Day: Half class TOEIC mini-test (Listening + Reading). Review answers.
14	Can improve test performance and accuracy.	Units 13-14: Housing & Personnel (過去完了・使役) + targeted TOEIC practice.
15	Can demonstrate TOEIC readiness.	Mock Practice Day: Final mini-test + review + feedback.

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST
参考文献・資料等	Mock tests, worksheets and misc. references.
備考	